

相談室開設 30 周年を迎えます

1996 年秋に、文京区の小さなマンションの一室に看板を掲げた足と靴の相談室。新聞記事で取り上げられると、足と靴のトラブルに悩む方からの問い合わせが殺到しました。

それから 30 年。ドイツの優れた技術を日本に普及できたと願い、日本人のための靴の開発、普及にも取り組んできましたが、日本の靴事情は決して良くなったとは言えません。

安い大量生産のスニーカーの氾濫、「軽くて脱ぎ履き楽な靴が良い」とされ、医療・福祉の現場では、体を支える靴の機能が以前にも増して軽視され、相変わらず、痛みなく歩ける靴がなくて困っている方が多い実情は変わっていません。

質の高い靴の生産に努力を重ねてきた数少ない靴メーカーも、最終仕上げだけで「国産」表示の安い海外製品に押され、靴業界では廃業、倒産が相次いでいます。

安い労働力を求めて利潤追求に走る風潮は、ドイツ等のヨーロッパも同様で、国を追われた難民の幼な子が、過酷な労働環境の下、靴作りに携わっているとも言われています。

私たちの暮らしと健康にとって、本当に大切なものは何なのかを皆様と一緒に考えながら、もうしばらくはエルデの事業の継続に努力していきたいと考えております。

30 周年記念 30% off AFW シリーズ



必要なメンテナンスをした上で納品させていただきますので、お渡しには日にちを要することがあります。